

町村週報

(町村の購読料は会費)
の中に含まれております)

2907号

毎週月曜日発行

発行所 全国町村会 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03-3581-0486 FAX03-3580-5955

発行人 石田直裕：定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110-8-47697

<http://www.zck.or.jp>おやひこさま
(新潟県弥彦村)随 情
想 報フ
ォ
ー
ラム活
動

町づくりと剣道修行……

町村Navi……

都道府県町村会正副会長交流会を開催―自治功労者75名を表彰―……

瀬戸内国際芸術祭・移住促進による交流人口拡大がもたらす町の魅力再発見
～人とのつながりから地域のつながりへ～香川県土庄町……

福岡県筑前町長 田頭 喜久己……

(14) (12) (8) (2)

コラム

地方創生で見えた矛盾

ジャーナリスト 松本 克夫

近年の東京は、ニューヨークを真似るつもりかと言いたくなるほど、方々で超高層ビルがよきによきと建ち上がる。国家戦略特区に指定され、容積率規制が緩和されるから、一段と建設に拍車がかかるだろう。「企業が最も活躍しやすい国」を掲げるアベノミクスの主戦場は東京である。グローバル企業に選ばれるためには、職住近接の便利で快適な国際ビジネス拠点が必要だ。大手町、品川などいくつかの地区で摩天楼が進むのはそのためだ。

国家戦略特区では、雇用労働相談センターを開設し、外国人医師による外国人患者の診療も認められる。金融を始めとした外資系企業にとっては、至れり尽くせりだから、いやでも東京に集まるだろう。東京では、これに2020年の五輪会場や交通インフラの整備が加わる。半世紀前の東京五輪同様、大規模な投資を伴う都市改造は、東京への一層の人口集中を招きそうだ。アベノミクスは、地方では「強い農業」

を実現するため、農地の大規模経営への集中を進めている。離農者を増やし、若者の流出を促すだろう。文部科学省は、小中学校の統廃合の基準を見直して、広範囲での統廃合をしやすくする「手引」をまとめた。学校がなくなる地域では、離れる人が増える。一方で東京の人口吸引力や地方からの人口流出圧力を強めておいて、他方では東京一極集中を正を旗印にした地方創生を推進するという。矛盾してはいないか。

安倍首相は、昨秋の臨時国会での所信表明演説で、島根県海士町の成功例を紹介しながら、「やれば、できる」と地方に突破をかけた。国が年末に決定した地方創生総合戦略では、「地方自らが考え、責任を持つて総合戦略を推進し、国が伴走的に支援することが必要」と記している。地方創生の主役は地方という宣告である。一般論としてはその通りだが、一極集中の要因をつくっておきながら、一極集中を止める責任を地方に押し付けるのはいかなものか。

◎写真キャプション◎

「おやひこさま」と呼ばれて親しまれている彌彦神社は、大正時代に再建・遷座されてから数え100年を迎える。常緑の木々に囲まれ白雪がきらめく拝殿は、一世紀を経て神さびた風情を漂わせている。

都道府県町村会 正副会長交流会を開催

— 自治功労者75名を表彰 —

全国町村会



全国町村会は1月22日午後3時から、東京・永田町の全国町村会館において、都道府県町村会正副会長交流会を開催し、自治功労者の表彰を行った。

本交流会には、各都道府県の正副会長・事務局長など約160名が出席。はじめに藤原忠彦会長（長野県川上村長）の挨拶があり、続いて、来賓として出席したあかま一朗総務大臣政務官、蓬清一全国町村議会議長会会長から祝辞が述べられた。

続いて自治功労者の表彰に移り、



▲来賓として出席した、あかま総務大臣政務官（右）
蓬全国町村議会議長会会長（左）

町村長（3期）60名、退職町村長15名（計75名）の表彰が行われ、被表彰者代表である香川県まんのう町長・栗田隆義氏に藤原会長から表彰状と記念品が贈呈された。

表彰終了後、石破茂 地方創生担当大臣から地方創生について、各自治体において「地方人口ビジョン」「地方版総合戦略」の策定にあたり、①成果目標とPDCAサイクルの導入を行うこと②事業計画・プラン作りにあたり、様々な年齢層の住民や、産業界、行政・教育・金融機関、労働団体、マスコミ等関係者からの意見



▲地方創生について説明を行う石破地方創生担当大臣

見を聴取すること③市町村と都道府県間で適切な役割分担と業務連携を実施すること④個別事業を他の市町村と連携して実施する際に、地域の実情に応じて検討を行うこと⑤国の総合戦略に盛り込まれた自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視の趣旨を踏まえて、具体的な事業の構築を進めること―以上5点について留意するよう説明が行われた。

また、時事通信社解説委員・田崎史郎氏から、「政局展望」をテーマに講演が行われた。

活 動

会長あいさつ

町村の振興発展に向けた活動を強力に展開



全国町村会長
藤原 忠彦
ふじはら ただひこ

また、本日の交流会におきましては、自治功労者の表彰を行うことといたしております。表彰を受けられる皆様におかれましては、永年に亘り重要な職務を全うされ、町村自治の振興発展に大きく貢献された功績が評価されたものであり、心からお祝いを申し上げます。

昨年は豪雨や台風、火山の噴火等により全国各地で甚大な被害が発生いたしました。お亡くなりになられた方々に対し、謹んでご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々、被災された町村にお見舞いを申し上げます。

東日本大震災から3年10ヶ月が経過いたしました。私は昨年、福島県・岩手県・宮城県の被災地を訪問し、地域の再生・復興に全力で取り組んでおられる町村長さんのお話を直接伺ってまいりました。その中で、本格的な復興を加速させていくためには、広範な職種にわたって職員を確保していく必要があり、なお一層の支援をいただきたいと要請がありました。私も町村としても、復興に取り組む町村を物心両面で引き続き

支援していかなければならないと考えております。

さて、先の衆議院議員選挙により、自由民主党・公明党による第三次安倍内閣が発足いたしました。政府には、引き続き東日本大震災からの復興と全国的な防災・減災対策に加え、アベノミクスの経済政策の効果を地方の隅々にまで広げ、地方創生を推進していくことが求められております。併せて、国と地方が抱える様々な課題に正面から取り組み、地方の意見を反映させた施策をスピード感を持って実行していただく必要があります。

昨年末、政府は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「経済対策等」を決定いたしました。政府が地方創生や地域経済の活性化に向けて本格的に取り組む姿勢を示されたことを大いに歓迎したいと思いますが、人口減少の克服、地方創生の推進など喫緊の課題を抱える、我々町村長も政府の取り組みと十分に連携し、自らの地域の将来は自らが決めるという決意を新たに、創意工夫し、全力でこの課題解決に取り組んでいかな

ければなりません。

また、町村が自主性・自立性を発揮して、様々な施策を着実に実施していくためには、町村の財政基盤の強化が不可欠であり、安定的な自主財源が確保されなければなりません。先般決定いたしました平成27年度の地方税制改正及び地方財政対策につきましては、極めて厳しい状況の中、高市総務大臣をはじめ、本日の臨席のあかま総務大臣政務官にも大変なご尽力をいただき、我々の納得できるものとなりましたが、財政基盤の脆弱な町村の生命線とも言つべき地方交付税総額の確保等については、今後も強力に訴え続けていかなければならないと考えております。

全国町村会は昨年、「地方創生の推進に関する提言」及び「農業・農村政策についての提言」を取りまとめ、具体的な政策提案をいたしました。また、道州制推進基本法案につきましては、各都道府県町村会はじめ皆様方の積極的な働きかけにより、国会への提出が見送られました。このように、全国町村会といたしましては、全力を挙げて活動しているところでありますが、今後とも、都道府県町村会との連携を密に保ちながら、直面する困難な課題に積極果敢に取り組む、町村の振興発展に向けた活動を引き続き強力に展開して参る所存でありますので、皆様方のお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

本日ここに、都道府県町村会正副会長交流会を開催いたしましたところ、あかま総務大臣政務官、蓬全国町村会議議長会長におかれましては、公務極めてご多端の折、ご臨席を賜り厚く御礼申し上げます。また、各都道府県町村会正副会長の皆様方におかれましては、ご多用の中を遠路ご出席いただき、誠にありがとうございます。

さて、この交流会は、全国の都道府県町村会の会長、副会長が一堂に会する一年に一度の機会であります。意見交換等を通して、相互の連携を強化し、町村自治の振興発展に向けた活動の充実につなげていきたいと願っております。

来賓あいさつ

町村の決意を尊重し、地方創生を後押し

総務大臣政務官 あかま 二郎



しをしたいと思います。

後ほど、石破地方創生担当大臣から、「人口減少社会なんだ、頑張らねばならないんだ、国はもちろんだが、地方自治体各々が、それぞれの発意を、信念を、やる気を持つこと、ここが重要なのだ」という話がなされると思っています。

その意味では、各地方自治体において、まさに地方創生がキーワードである中、我々総務省としては皆様方の決意を尊重し、しっかりと後押しをしたいと思います。

総務大臣政務官のあかまでございます。今日は都道府県町村会正副会長交流会という、大勢の皆様がいらつしゃる中で、こうしてお招き頂いたことを感謝申し上げます。また、総務省を代表して、日頃より、地方行政、地方自治の進展に大変ご協力を頂いていることをあらためて感謝申し上げます。

3点だけお話し申し上げます。まず地方経済についてですが、アベノミクスの経済効果について「都会はいいよな、でも私たちのところは…」という状況だと思っております。総理を含む私たちの、「アベノミクスの経済効果を全国津々浦々まで広げる」という、この信念に揺るぎはありません。もちろん皆様方には、ではどうするんだ、という問いがあるのだと思います。私たちはまさに足腰の強い地域経済

体を作りたい、そんな思いで「ローカル10,000プロジェクト」という、それぞれの起業・創業を支援するプロジェクトを立ち上げました。電力の小売り自由化と、これに伴う分散型エネルギーシステムの構築も後押しします。さらに、その地域の活性化を目指し、総理の肝入りによる施策「地域おこし協力隊」を推進するとともに、全国それぞれの町々に移住を促進するため、全国移住促進センターも設置します。

次に、そうした地域の経済・活力のための取り組みのみならず、おそらく皆様方が心配されている税財政についてですが、政府与党の税制改正大綱に、皆様方の思いというものを踏まえながらうまく組み込んだのではないかと思っております。地方財政対策においては、「まち・ひと・しごと創生事業費」を創設し、一般財源総額については、26年度を1・2兆円上回る61・5兆円を確保できました。さらには、地方税収が増収となる中で地方交付税の減少を最小

限に抑えつつ、一般財源の質を高めることができました。これからも、地方の皆様方のやる気が出る、そんな税財政の構築にしっかりと取り組まなければなりません。また税制については、とりわけ皆様方のいわゆる財源確保としてのふるさと納税の拡充も出来ました。是非、これからも皆様方のご要望を充分に活かしながら総務省としてもしっかりと働きかけていきたいと思っています。

最後にもう一点。昨年の広島県の土砂災害、さらには御嶽山の噴火と、これらの自然災害にあつては、町村長の皆様方と総務省との協力関係が不可欠でございます。村民、町民の安心・安全のため、防災に積極的に取り組まれる、現場の最前線に立つ町村長の皆様方を、我々もしっかりと後押しをすることをお約束します。

本日、この都道府県町村会正副会長交流会において、意義ある交流・意見交換が行われ、その中から新しいアイデアが生まれましたら、それを私たち総務省にしっかりと伝えただけだと思います。この交流会を契機に、ますます町村が、地方が、そして国全体が良い方向に行くよう祈念いたします。今日の交流会の開催、誠にありがとうございます。

活 動

来賓 あいさつ

国と連携・協力しながら、地方創生に全力で取り組む

全国町村議会議長会

会長

蓬 清二

よもぎ せいじ



ご紹介をいただきました全国町村議会議長会会長を務めております香川県直島町議会議長の蓬 清二でございます。

本日、ここに、都道府県町村会会長、副会長等が一堂に会し、都道府県町村会正副会長交流会が開催されるに当たり、全国の町村議会議長を代表しまして、一言ご祝辞を申し上げます。

はじめに、ご出席の各都道府県会会長、副会長並びに関係者の皆様には、平素、町村行政の中枢にあつて住民福祉の増進と地域の振興発展のため、日夜、献身的なご努力と情熱を注いでおられることに對しまして、衷心より敬意と感謝を表する次第であります。

同時に、日頃から私ども町村議会議長会に對し、格別のご理解とご支援を賜っておりますこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

また、本日、晴れの自治功労者表彰の栄に浴されます皆様方には、心から

お慶び申し上げますとともに、今後一層のご活躍をご期待申し上げます。

さて、国内の政治・経済に目を転じますと、昨年12月14日に挙行された第47回衆議院議員総選挙の結果、自由民主党は連立を組む公明党と合わせて衆議院定数の3分の2を超える議席を確保し、安倍総理は安定政権を維持することとなりました。

政府与党には、地方創生をはじめ諸課題の解決に向け、頑張つていただきたいと思ひます。

年末選挙となった関係から、越年となった平成27年度政府予算は、去る1月14日に閣議決定、地方財政対策が決定しました。

内容は、既に皆様ご承知のことと存じますが、地方税が増収となる中で、地方交付税の減少を0・1兆円減と最小限にとどめ、臨時財政対策債の発行を大幅に抑制した上で、地方の一般財源総額を61・5兆円とし、前年度を大幅に上回る額が確保されました。

また、我々地方が求めていた地方創生のために必要な経費が「まち・ひと・しごと創生事業費（仮称）」として新設され、新規財源を0・5兆円確保し、地方創生元年にふさわしい1兆円が計上されました。

さらに、歳出特別枠を実質的に維持するほか、地方交付税原資の安定性の向上・充実を図るため法定率の見直しが行われました。

こうした内容は、私どもにとって評価・歓迎できるものであり、総務大臣をはじめ関係者の皆様に感謝申し上げます。

たいと存じます。

内政の最重要課題である地方創生については、本年が国と地方がともに手を携え地方創生の推進に向けた取り組みがスタートする年になりますので、「まち・ひと・しごと創生事業費（仮称）」の算定に当たっては、各団体の実情を十分に勘案し、地方創生に取り組む地方の個性・独自性を尊重していただくようお願いしたいと考えております。

これに併せて人口減少克服を実現するための息の長い取り組みが必要であると考えております。

我々としては、国と連携・協力しながら、少子化対策の抜本的強化、農林水産業を含めた産業振興、雇用の創出など地方創生に全力を挙げて取り組んでいく所存であり、地方創生の更なる推進のために、今後とも地方税財源の充実確保を図っていくことを求めたいと考えております。

また、東日本大震災からの復興については、被災市町村関係者各位の身を削るような苦労、県や国等の懸命な努力にもかかわらず、災害発生から3年10ヶ月が経過した今日にあつても、故郷を追われ避難生活を余儀なくされている方は、未だ24万人強におよび、家屋、財産、仕事を失った方の「復興」はまだまだと言わざるを得ません。この場をお借りして、復興に向けて陣頭指揮を執られていて、被災町村長各位のご労苦に對し、心から敬意を表するとともに、困難な道のりに果敢に立ち向かう姿勢にエールを送りたいと存じます。

我々は、この震災を風化させることなく、「地域の再生」が成し遂げられるまで、復興対策に取り組み続ける所存であります。

私は、昨年9月及び10月に岩手県・宮城県・福島県の被災地を訪問させていただき、首長・議会議長から、被災地の生の声をお聞きしました。いずれの方も、平成28年3月に切れる復興集中期間の期限切れの問題を心配されておりました。

被災地においては、まだまだやらなければならぬ施策が残っています。国はこれまで復旧・復興に向け、様々な財政措置、必要な法整備を行い、被災地を支援する体制を構築されてきましたが、真の復興はこれからだと強く認識しておりますので、復興集中期間の延長に特段の配慮をお願いしたいと考えております。

また、我々町村にとって重要な影響を及ぼす道州制やTPPの問題については、依然として予断を許さない状況にあると考えております。

これらの問題については、私も藤原会長と連絡を密にとり、町村の振興発展等課題の克服に向け取り組んでいく所存でありますので、皆様方の特段のご協力をお願いするものであります。最後になりますが、これまでも全国町村会においては、町村の実態を踏まえ、藤原会長を先頭に果敢に行動されており、今後も、大きな期待を寄せております。

我々町村議会議長会としても、全国の町村が、将来にわたって明るい展望を切り開いていくことが出来ますよう、全国町村会との連携を一層密にして参る所存であります。

これからも、町村を元気にさせ、日本を元気にさせるため、共に頑張つて参りたいと考えております。

全国町村会の益々のご発展と本日、ご出席の皆様方のご健勝・ご活躍を祈念いたしましてお祝いのご挨拶といたします。

活 動

自治功労者表彰

自治功労者75名を表彰

町村長(3期)

【北海道】

亀田郡七飯町長 中 宮 安 一
夕張郡栗山町長 椿 原 紀 昭
上川郡比布町長 伊 藤 喜代志
網走郡津別町長 佐 藤 多 一
斜里郡清水町長 林 直 樹

【青森県】

沙流郡日高町長 三 輪 茂
河西部芽室町長 宮 西 義 憲
釧路郡釧路町長 佐 藤 広 高
川上郡標茶町長 池 田 裕 二
中津軽郡西目屋村長 関 和 典
【岩手県】
九戸郡洋野町長 水 上 信 宏

【山形県】

胆沢郡金ヶ崎町長 高 橋 由 一
最上郡鮭川村長 元 木 洋 介
東置賜郡高畠町長 寒 河 江 信
大沼郡昭和村長 馬 場 孝 允
石川郡石川町長 加 納 武 夫
石川郡浅川町長 須 藤 一 夫
【栃木県】
芳賀郡益子町長 大 塚 朋 之
秩父郡皆野町長 石 木 戸 道 也
【千葉県】
香取郡多古町長 菅 澤 英 毅
【山梨県】
南巨摩郡富士川町長 志 村 学
【新潟県】
岩船郡粟島浦村長 本 保 建 男
【富山県】
中新川郡立山町長 舟 橋 貴 之
【石川県】
鳳珠郡穴水町長 石 川 宣 雄
【長野県】
下伊那郡高森町長 熊 谷 元 尋

【静岡県】

木曾郡王滝村長 瀬 戸 普
賀茂郡東伊豆町長 太 田 長 八
榛原郡川根本町長 鈴 木 敏 夫

【愛知県】

愛知郡東郷町長 川 瀬 雅 喜

【三重県】

度会郡玉城町長 辻 村 修 一
多気郡明和町長 中 井 幸 充

【京都府】

与謝郡伊根町長 吉 本 秀 樹

【大阪府】

南河内郡河南町長 武 田 勝 玄

【兵庫県】

加古郡稲美町長 古 谷 博
加古郡播磨町長 清 水 ひろ子

【奈良県】

吉野郡東吉野村長 水 本 実
磯城郡田原本町長 寺 田 典 弘

【和歌山県】

海草郡紀美野町長 寺 本 光 嘉
伊都郡九度山町長 岡 本 章

【鳥取県】

八頭郡若桜町長 小 林 昌 司
東伯耆湯梨浜町長 宮 脇 正 道

【岡山県】

和気郡和気町長 大 森 直 徳
浅口郡里庄町長 大 内 恒 章

小田郡矢掛町長 山 野 通 彦



▲自治功労者代表 香川県まんのう町長 栗田隆義氏

活 動

【北海道】(4期)	退職町村長	苫前郡羽幌町	舟橋泰博
【徳島県】	山崎親男	苫田郡鏡野町長	
【香川県】	中田丑五郎	勝浦郡勝浦町長	
【愛媛県】	栗田隆義	仲多度郡まんのう町長	
【高知県】	山下和彦	西宇和郡伊方町長	
【福岡県】	池田洋光	高岡郡中土佐町長	
【佐賀県】	井上利一	嘉穂郡桂川町長	
【熊本県】	岸本英雄	東松浦郡玄海町長	
【宮崎県】	後藤三雄	菊池郡菊陽町長	
【沖縄県】	内山慶治	球磨郡山江村長	
【徳島県】	土屋良文	児湯郡新富町長	
【京都府】(5期)	高良文雄	国頭郡本部町長	
【徳島県】(6期)	野国昌春	中頭郡北谷町長	
【香川県】(4期)	古堅國雄	島尻郡与那原町長	
【高知県】(4期)	仲田建匠	島尻郡南大東村長	
【徳島県】(4期)	上原昇	島尻郡渡名喜村長	
【香川県】(4期)	外間守吉	八重山郡与那国町長	
【滋賀県】(4期)	村西俊雄	愛知郡愛荘町	
【福井県】(4期)	米澤政明	下新川郡入善町	
【千葉県】(4期)	藤見昌弘	長生郡長南町	
【茨城県】(4期)	阿久津藤男	東茨城郡城里町	
【秋田県】(9期)	齋藤正寧	南秋田郡井川町	
【宮城県】(6期)	佐々木功悦	遠田郡美里町	
【岩手県】(4期)	藤原孝	紫波郡紫波町	
【青森県】(10期)	太田健一	下北郡佐井村	
【徳島県】(4期)	中野撃司	北津軽郡鶴田町	
【高知県】(4期)	吉岡珍正	高岡郡越知町	



▷エンジェルロードの夜明け(天使の散歩道)

現地レポート

地域資源を活かした活性化策

瀬戸内国際芸術祭・移住促進による 交流人口拡大がもたらす町の魅力再発見

〽人とのつながりから地域のつながりへ〽

香川県

このしょうちょう
土庄町



町の概要

土庄町は、香川県に属し、瀬戸内海国立公園の東部に浮かぶ小豆島の西北部に位置し、豊島、沖之島、小豊島などの有人島を含めた地域を行政区域と

しています。面積は、74・39㎢、人口は約1万4千人です。

小豆島の大きさは、169・86㎢で、瀬戸内海では淡路島に次いで2番目に大きい島で、山地が多く、高い山が海岸にまで迫っているので平地は少なく、民家はそこに集中しています。そのおかげで小豆島には、寒霞溪や銚子溪など、人々を魅了する美しい自然が数多くあります。

気候は、明治41年、ヨーロッパ地中海から初めて持ち込まれたオリーブの木がわが国で唯一小豆島だけに根付いたように、四季を通じて雨が少なく温暖な瀬戸内式気候です。

1996年にギネスに認定された世界一狭い海峡「土渕海峡」、潮の満ち干きによって現れたり消えたりする「エンジェルロード」、昔、瀬戸内海に

フォーラム

瀬戸内国際芸術祭の効果

その瀬戸内国際芸術祭についてですが、平成22年に初めて開催され、その

いた海賊との攻防戦に備え、町を守るために複雑でくねくねと細く伸びる道を成し、全国に現存する数少ない迷路の一つである「迷路のまち」など、ぜひ一度立ち寄っていただきたい観光スポットがたくさんあります。また、長い歴史を経て受け継がれている肥土山農村歌舞伎や秋の太鼓祭り、島遍路などの伝統文化が今も大切にされているほか、近年は、瀬戸内国際芸術祭をきっかけとして島独自の文化や自然とアートの融合によって新たな魅力も生まれるなど、小豆島だけで毎年100万人（推定数）を超える観光客の方々が訪れています。



△瀬戸内国際芸術祭2013わらアート



△迷路のまち

後は、3年ごとに開催されています。平成22年は、『瀬戸内国際芸術祭2010「アートと海を巡る百日間の冒険」という名称で、『海の復権』をテーマに、7月19日から10月31日までの105日間、香川県内の7つの島を中心に開催され、土庄町では、小豆島と豊島が会場となりました。美しい瀬戸内海を船で巡りながら、島の自然や文化に溶け込んだ現代アートを体感するという新しい観光のスタイルが都会の若者を中心に大きな反響を呼びました。

また、島民と作家、ボランティアサポーターとの交流は、人と人がつながることの楽しさや大切さを再認識するきっかけとなりました。

平成25年は、『瀬戸内国際芸術祭2013「アートと島を巡る瀬戸内海



△瀬戸内国際芸術祭2013迷路のまち空き家プロジェクト

の四季』という名称で、同じく『海の復権』をテーマに、季節の移り変わりも楽しみながら島々を巡ることができよう春・夏・秋の3会期に分け、計108日間、香川県内の12の島を中心に開催され、土庄町では、前回同様、小豆島と豊島が会場となりました。

小豆島では新たに「インスタレーション（展示空間全体を使った3次元的表现）」や「迷路のまち空き家プロジェクト」を展開し、会期中には地元の特産物や伝統芸能を活かしたオリジナルイベントを実施しました。また、豊島では、海と山の自然に恵まれた特徴を活かし「食」と「アート」をテーマにした現代アートが国内外から注目を浴びました。

瀬戸内国際芸術祭の魅力は、世界各国の著名作家やプロジェクトによる完成度の高いアートもさることながら、

海を渡る楽しさ、島々の住民の心温かなおもてなし、瀬戸内海の四季の移り変わりや島々の歴史・資源・風習などにあります。そういった島の民俗を活かし、島での生活、歴史に焦点を当て、アートが関わることによって住民、特に高齢者の元気を再生する機会を作り出しています。特に豊島では、最も人気のある豊島美術館ができたことによって、唐櫃地区の棚田が再生され、その景観維持の活動を地域住民と公益財団法人福武財団と町が協働で取り組んでおり、毎年秋には『豊島棚田の収穫祭』が開催されるなど、地域活性化に大きく寄与しています。ほかにも、この芸術祭を契機に飲食店がオープンしたり、新たな特産品が販売されたりと、さまざまな方向へその波及効果が表れています。



△豊島棚田の収穫祭

フォーラム

波及効果のひとつとして、挙げられるのが移住者の増加です。瀬戸内国際芸術祭で来島された方が、土地や地域住民の魅力に惹かれ、島を訪れたいという興味・関心から島に住みたいという興味・関心に変化し、最終的に移住↓定住という行動にもつながっています。

移住推進施策

その移住についてですが、土庄町は、3人に1人が65歳以上の高齢者で、高齢者を支える若い世代を中心に人材が不足しているなど、人口減少・少子高齢化が顕著であります。

若い世代の人口を確保することで、これからの超高齢化社会を支えるとともに、出産・育児を通して人口増加や地域の活性化を図ることを目的とし



△豊島棚田

て、平成19年から移住施策に取り組み始めました。なお、平成25年度の移住実績としては、移住相談件数169件、移住者47組66名（Uターンを含めると97組127名）となっています。

土庄町が求める「移住者」とは、地域の中に溶け込み、地域の新しい人材になっていただける方です。土庄町という土地・人の魅力に惹かれ、島に住み、外からの視点を持ち込んでいただき、それが地元とうまく融合することで新たな可能性が生まれ、その結果として、地域の活性化につながっていくと考えています。移住を最終的に決めるのは、移住者自身であるため、「なんとなく移住したい」「どこでもいいから引っ越したい」「移住すればなんとかなる」といった曖昧な考えでは、移住はできませんが、定住にはつながりません。「住んでみたけれども想像していたものとは違った。」では、お互いに何のメリットも生まれません。そういった問題（ギャップ）を少しでも取り除き、移住者と地元（土庄町）がお互いWin-Winの関係を築いていくためには、やはり、町のことを事前に知っていただいて、納得したうえで決断してもらい、行動に移してもらうのがいいのではないかということで、主な移住促進施策として「土庄町島ぐらし体験の家」「島ぐらし体験ツアー」「土庄町空き家バンク制度」の事業を行っています。

百聞は一験にしかず
『土庄町島ぐらし体験の家』

「土庄町島ぐらし体験の家」は、移住を希望される方を対象とした移住交流滞在施設であり、「移住先としてもつと詳しく知りたい!」「移住の足がかりとしたい!」とお思いの方に利用していただく、いわば、お試し島暮らし住居です。以前は民間企業のクラブハウスとして使用されていた建物を改築し、一昨年の秋から供用しています。

【土庄町島ぐらし体験の家施設概要】

- ◆ 建築年／平成9年築
- ◆ 構造／鉄骨スレート葺平屋建て
- ◆ タイプ／3K（6畳和室×2部屋、8畳和室×1部屋）、水洗トイレ（浄化槽）、風呂（ユニットバス）、駐車場有
- ◆ 施設内には、テレビ・洗濯機・コタツ・布団・エアコン・冷蔵庫・オープンレ



△島ぐらし体験の家（外観）

ンジ・炊飯器及び食器等を用意。

◆ 施設使用料／1日2,000円

◆ 使用可能期間／最短1週間～最長3ヶ月※使用開始及び退去日は平日のみ。

◆ その他／食料や食品、町指定ゴミ袋、洗剤、トイレトーパーパー等の生活に欠かせない日用品等は、自己負担。

今年度（平成26年11月30日現在）の土庄町島ぐらし体験の家の使用実績につきましては、施設稼働日数206日（稼働率84.4%）、施設使用者15組33名（うち移住者3組8名）となっております。施設使用後のアンケートにおいても、この施設を利用したことで島の暮らしをより身近に感じることができたとか、自分の考えが甘くイメージだけで移住を考えていたが、より具体的に移住を考える大変貴重な経験になったなど、小豆島に移住を考えている方に大変ご好評をいただいています。



△島ぐらし体験の家（間取り）

フォーラム

移住に向き合う
『島ぐらし体験ツアー』

「島ぐらし体験ツアー」は、小豆島の2町（土庄町及び小豆島町）と各町自治会代表者、宅建協会、公共職業安定所などで構成する小豆島移住・交流協議会が平成19年から行っており、お試し移住体験として短期間でのツアーを企画・実施しています。

以前は、参加者に各メニューから選択してもらうツアーであり、中には観光的な要素が強いメニューもありましたが、参加者のニーズをより的確に捉え、観光ではなく移住という目的に参加者が向き合えるツアーの提供を行うということで、平成25年度からツアーメニューを絞りこみ、1泊2日のツアーを年2回開催しています。

◆【平成26年度島ぐらし体験ツアー概要】

◆開催期間／

第1回10月18日（土）～19日（日）
第2回11月15日（土）～16日（日）



△島ぐらし体験ツアー

◆主なツアースケジュール／

日程 区分	2日目		1日目		内容
	午後	午前	午後	午前	
プラン	自由行動	移住者との 交流会	空き家物件 見学	就労・ 住居相談	ハローワーク職員 による就労相談、 宅建協会の方によ る住居相談
		移住者の方 が経営するカフェ等 で、数人の移住者の 方々を囲んで小豆 島の移住につい ての体験談や質問 等（さつくばら ん座談会形式）			両町（土庄町、小豆 島町）の空き家バ ンク物件や宅建業 者紹介の物件見学

◆参加者からの主な意見／

「就労や住居についてのリアルな話が聞けて良かった」・「生活の場としてのイメージをふくらますことができた」・「実際に移住者と話ができてとても参考になった」

空き家活用
『土庄町空き家バンク制度』

移住について、最

近よく使われるキーワードとして「居・職・住」があります。が、移住に関する相談で最も多い問い合わせが住まい（家）についてです。

土庄町において

は、「土庄町空き家バンク制度」を設けて、町内の空き家を活用した移住も促進しています。町内で賃貸・売買ができる空き家を所有者に登録していただき、土庄町への移住希望者に情報を提供しています。なお、物件所有者と移住希望者の交渉は、当事者間で行っていたが、最終的に契約を結ぶ際には宅建業者に仲介を依頼する方法をとっています。

◆空き家バンク制度のしくみ



空き家バンクの実績としては、毎年10件前後の登録、約5組が空き家バンク登録物件で移住している状況となっています。また、移住促進事業交付金として、土庄町空き家バンクに登録している物件を取得、又は賃借した移住者に対し1人当たり5万円（世帯当たり20万円を上限）を交付しています。

おわりに

土庄町は、商業の町であり、中でも観光産業が町経済の原動力となっています。瀬戸内国際芸術祭を契機に観光客層が多様になっている中、これを一過性のものとせず、継続性のある町の資源として、交流人口の拡大を図っていく必要があると思っています。そのためにも一人でも多くの島外の人々に土庄町に対する興味・関心を促し、観光・移住・定住という行動につながるような取り組みを今後も行っていく必要があります。そして、その交流促進という波及効果によって、地域住民の活気や地元の魅力の再発見などの地域活性化となつて、さらに新たなものが生まれ、さらに人々が土庄町を訪れるという循環型交流施策を進めていきたいと思います。

土庄町長 三枝邦彦



△「太陽の贈り物」チェ・ジョンファ

随 想

町づくりと剣道修行

福岡県筑前町長 田頭 喜久己
うちげん たがしち きくみ

中学1年から始めた剣道を現在も続けている。約50年間それぞれの段位の時の師、同志、子ども指導の思い出が詰まっている。不器用な私は六段を12回、七段を9回受審し57歳で七段証書をいただいた。それぞれ3、4回不合格となると自分の能力なりを疑い始める。しかし、不思議なもので落ちて努力をすれば得るものがある。それは素晴らしい人との出会いである。教えがいがあると先生や剣道仲間。合格した時家族はもちろん先生も同志も教え子も喜んでくれた。不器用冥利に尽きると心から思った。

役場に就職し、30代40代は地域活性化に熱中した。さまざまな部署に配属されたがいつも念頭には町づくりがあった。家が農家であり特産品づくりも我が家の農地で実験したが多くは失敗した。

湯布院町、大山町、小国町、綾町、

北九州市など幾度となく視察した。手弁当で行くと、より親密に話が聞けた。テーマはムラおこしと内発的地域振興である。そしてムラおこしとは、心おこしであると学び得た。剣道の「剣は心なり」と通じるものがある。心おこしから実践へ、平成5年に野菜の直売所を開設した。女性名義の通帳を条件とした出荷制度は女性に心おこしと活躍の場を与えた。

58歳で役場職員から町長に就任し、町づくりは剣道修行の思いで取り組んでゆくと決意した。筑前町は、米・麦・大豆の農業の町、一方で、かつて東洋一の陸軍飛行場があった町、この町の個性である資源を生かして、後世へつなぐために「食に感謝し平和を願う」をテーマに町づくりを進めている。

5年前に食の拠点としてファ-

マースマーケット「みなみの里」を整備した。出荷者数365人、野菜果物だけでなく米粉パン、豆腐、弁当の工房、かまど炊きの筑前煮やごはんのレストランなどで、年間約5億円の売り上げとなり町に元気を与えている。今年は職員、出荷者の奮起で直売所甲子園にも出場する。

また、新たな町の活性化に特産品が必要だった。小さな新聞記事から新品种の黒大豆に着目した。本町は大豆の産地であり生産基盤、技術も充実している。実験栽培の結果、品質、収量とも手ごたえがあった。加工に向いているし枝豆も美味しい。町は「筑前クロダマル」として商標登録した。生産者、職員、商工業者に心おこしが始まった。ドレッシング、甘納豆、豆腐、スイーツ、コーヒーなどが開発され直売所をはじめ町内随所の店舗に「筑前クロダマル」の赤いのぼり旗がなびく。商工会、JCがイベントを開く。子どもたちも応援してくれる。町全体に広がりをもせつつある。ブランド化に向けてこれからが正念場だ。

同じく5年前に平和の拠点として筑前町立大刀洗平和記念館を整備した。本物のゼロ戦や九七式戦闘機を展示し、朗読等で平和の大切さを発信し続けている。修学旅行のコースにもなり全国から年間13万人の来館

者がある。平和のメッセージコンテンツには全国から3467通も寄せられた。今年は戦後70年の節目の年でもあり、本館の役割が改めて見直される。

心おこしは学ぶこと、教育こそ町づくりの原点だと確信している。塾や私学に行かなくとも、確かな学力と人間力を創るという強い思いのもと町単独で指導主事の複数配置や専門教師を採用し、すべての小中学校にランチルームや空調を整備した。学校現場の努力により学力も向上している。

このような町の魅力に気づいてもらったのが合併後減少していた人口が3年前から増加に転じた。

剣道修行は生涯であり、町づくりも課題や希望が泉のごとくわき出てくる永遠のものである。攻めが必要であり、一源三流、交剣知愛、守破離、懸待一致、努力は裏切らない、それぞれの剣道の教えが町づくりであり人生である。折しも地方創生元年の年、さらに剣道から心おこしを学びたい。週に一度の早朝稽古が楽しみである。

TIME of RELAXING

「ゆとり」と「やすらぎ」のひとつとき

静かさと心地よさに配慮し、室内インテリア全体を落ち着いた雰囲気にとまとめ、ゆったりとしたやすらぎのひとつときをお届けいたします。

<http://www.zck.or.jp/kaikan/index.html>

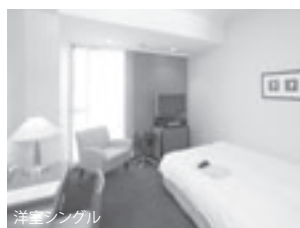


土・日・祝日は リーズナブルに

土・日・祝日のご宿泊は、
平日料金の **20%OFF**

金曜日のご宿泊は、
平日料金の **15%OFF**

和室もございますのでお問い合わせ下さい。
禁煙ルームをご用意しております。



シングル 119 室
平日料金 10,100円より

SINGLE
ROOM

金曜日料金

15% OFF
8,600 円より

土・日・祝日料金

20% OFF
8,100 円より



ダブル 12 室
平日料金 13,700 円
〈2 名利用〉※1 名利用の場合 11,400 円

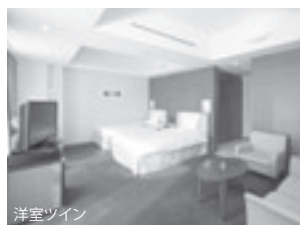
DOUBLE
ROOM

金曜日料金

15% OFF
11,600 円
※1 名利用の場合 9,600 円

土・日・祝日料金

20% OFF
10,900 円
※1 名利用の場合 9,000 円



ツイン 17 室
平日料金 19,000円より
〈2 名利用〉

TWIN
ROOM

金曜日料金

15% OFF
16,200 円より

土・日・祝日料金

20% OFF
15,200 円より

会議室・宴会場

2 階には広さと設備が多様な、大小 4 つのホール、会議室。高い機能性を持ち、さまざまな演出が可能です。会議・研修、パーティーなどに幅広くご利用いただけます。

カジュアルレストラン「ベルラン」

ランチタイム 11:00 ~ 14:00
ディナータイム 14:00 ~ 17:00
ディナータイム 17:00 ~ 22:00
(21:30 ラストオーダー)

和食処「さいかち」

ランチタイム 11:30 ~ 14:30
(14:00 ラストオーダー)
ディナータイム 17:00 ~ 22:00
(21:30 ラストオーダー)



全国町村会館

市町村職員共済組合等の宿泊助成がご利用いただけます。

お電話でのご予約・お問い合わせは

TEL 03(3581)0471

FAX 03(3581)0220

〒100-0014 東京都千代田区永田町 1 丁目 11 番 35 号

WEB からのご宿泊予約は、特別料金(部屋数限定)がございます。

ホームページは

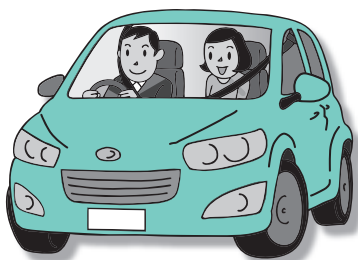
[全国町村会館](#)

[Q 検索](#)

全国町村会館へのアクセスガイド

- 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町」3 番出口徒歩 1 分
- 丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」徒歩 5 分
- タクシー東京駅から約 20 分





車両共済(保険)のご案内

(一般自動車保険の車両保険)

この車両共済(保険)は、町村生協の自動車共済で補償する対人賠償、対物賠償、限定搭乗者傷害等に加え「**ご自身のおクルマの補償(車両保険)**」を追加する制度です。
お車が衝突した場合や台風・いたずら・盗難など偶然な事故で損害を被ったときに、共済(保険)金をお支払いします。

町村生協の自動車共済にご加入の皆様なら！

- 無事故による割引で新規から **42%(保険料)割引**
・ご加入を希望するお車が町村生協の自動車共済で過去3年無事故の場合は、ノンフリート等級9等級からスタートします。
- 集団扱年一括払いによる割引で更に **5%割引**
保険料分割払(12回)も選択可能です。
・保険料分割払をご利用の場合は上記の集団扱年一括払の5%割引の適用はありません。

さらに 無料ロードサービスがついてきます。

ご契約のお車が、事故・故障で自力走行できなくなった場合、事前にロードアシスタンス専用デスクにご連絡ください。ロードアシスタンス業者にお取り次ぎし、レッカーや30分程度の緊急修理などを手配します。 ●バッテリー上がりや、キー閉じ込み、ガス欠など

- ・掛金(保険料)は、型式、初度登録年月、年齢条件、運転者限定特約の有無、共済(保険)金額、等級などにより異なります。
- ・このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容については取扱代理店(千里)までお問い合わせください。

※この車両共済(保険)をご契約いただける方は、全国町村職員生活協同組合の自動車共済に加入されている方に限ります。

●お見積りのご請求・お申し込み・お問い合わせなどは、下記までご連絡ください●

お電話の際には、車検証をお手元にご用意ください

(受付時間 月～金 午前9時30分～午後5時)



0120-731-087
03-3519-7325

株式会社 千里(取扱代理店)

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館内

●ホームページアドレス <http://www.chisato-ag.co.jp>

- 「車両共済(保険)制度」は、全国町村職員生活協同組合と損害保険ジャパン日本興亜株式会社とが集団扱契約を締結し、実施しているものです。
- 集団扱としてご契約いただけるのは、保険契約者および被保険者が損保ジャパン日本興亜の定める条件を満たす場合のみとなります。詳細については、取扱代理店(千里)までお問い合わせください。

〈車両保険引受保険会社〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 「損害保険ジャパン日本興亜株式会社」は損保ジャパンと日本興亜損保が2014年9月1日に合併し誕生した会社です。

[SJNK14-12003(2014.11.21作成)]